

第 1 章 札幌市の観光への取組

1 平成 26 年度観光コンベンション部の事業概要

各事業の詳細については、【 】内に記載している各担当係までお問い合わせください。

＜お問い合わせ先＞

札幌市観光文化局観光コンベンション部観光企画課

電話 011-211-2376

○観光客の受け入れ環境整備事業

(1) 観光案内所の運営管理【観光誘致・受入担当】

来札客に各種観光情報等を提供するため、市内に観光案内所を設置しています。常設の案内所のほか、観光シーズンやイベントに合わせて設置する案内所があります。

また、外国人来札客に対しての観光情報提供場所として、国際観光振興機構（日本政府観光局：J N T O）の認定による「外国人観光案内所」（下記注）があります。

※注 カテゴリー 1：何らかの方法での英語対応・地域の情報を提供

カテゴリー 2：英語対応可能なスタッフが常駐・広域の案内を提供

〔観光コンベンション部案内所一覧〕

名 称	概 要
北海道さっぽろ観光案内所 (カテゴリー 2)	所 在 地：中央区北 6 西 4 J R 札幌駅 1 階西側コンコース 定 休 日：年中無休 営業時間：8:30～20:00 電話番号：011-213-5088
カッコウの窓口	所 在 地：中央区北 1 西 2 北海道経済センタービル 4 階 札幌観光協会内 定 休 日：土日祝、年末年始 営業時間：8:45～17:15 電話番号：011-211-3341
大通公園観光案内所	所 在 地：中央区大通西 3 丁目 開設期間：春～秋季のみ 平成 26 年は 4/25～10/31 まで開設 定 休 日：開設期間中は無休 営業時間：9:30～17:30（4・5 月、9・10 月） 9:00～18:00（6～8 月） 電話番号：なし
定山溪観光案内所	所 在 地：南区定山溪温泉東 3 丁目 定 休 日：年末年始 営業時間：9:00～17:00 電話番号：011-598-2012
札幌国際プラザ (カテゴリー 1)	所 在 地：中央区北 1 西 3 札幌 MN ビル 3 階 定 休 日：日祝、年末年始 営業時間：9:00～17:30 電話番号：011-211-3678
雪まつり観光案内所	所 在 地：中央区大通西 6・9 丁目 開設期間：雪まつり会期中のみ 平成 27 年は 2/5～2/11 まで開設予定 定 休 日：雪まつり会期中無休 営業時間：9:00～22:00 電話番号：なし

(2) **観光マップ制作【観光誘致・受入担当】**

来札客の円滑な周遊をサポートするためのツールとして、中心部及び広域マップに主な観光施設を掲載した「さっぽろ観光マップ」を発行し、市内各案内所等で配布しています。

(3) **観光案内板の管理【庶務係】**

来札客の利便性を図るために、191 基の観光案内板を設置しています。表示言語は、日本語・英語・中国語（簡体字）・ハングルの4言語に加え、中国語（繁体字）の追記を順次行っています。

また、ピクトグラム（絵文字表記）などユニバーサルデザインの採用にも努めています。

(4) **都心部観光バス待機場の設置【観光誘致・受入担当】**

観光バスで訪れた観光客が街なかを見学している間、バスが路上駐車をしなくても済むように、札幌市と北海道バス協会が共同で観光バス専用の待機場を設置し、北海道バス協会が管理運営をしています。

観光バス待機場所在地：中央区南8条西2丁目 ※平成25年10月1日より移転
〔平成25年度利用台数14,416台〕

(5) **札幌いんふお運営事業【MICE推進担当】**

スマートフォン（多機能携帯電話）やタブレットPC等に対応した観光アプリケーションソフトウェア「札幌いんふお」を運営し、札幌の魅力あるタイムリーな情報を日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、ハングル、タイ語の多言語で提供しています。観光情報の他、位置情報を利用して、目的地やユーザー周辺の情報を提供するなど、国内外の観光客の札幌滞在、周遊を促進します。

(6) **公衆無線LAN環境の充実【MICE推進担当】**

外国人観光客のニーズが高い公衆無線LAN（Wi-Fi）環境を充実させるため、民間事業者と連携した取組を進めています。

○おもてなし推進事業【観光誘致・受入担当】

(1) **観光ボランティアの運営**

大通公園観光案内所や北海道さっぽろ観光案内所、雪まつり会場の観光案内所で観光案内を行う市民ボランティアの活動を支援しています。

登録数は143名（男61名・女82名）、平均年齢は64歳であり、活動は交代制となっています（平成26年10月現在）。

(2) **市民と協働による観光リーフレットの多言語化**

地元市民がおすすめるスポット等の情報を掲載した観光モデルコースの多言語化を実施します。

(3) **札幌おもてなし委員会**

まち全体のおもてなし向上を目的として、観光関連団体（経済団体、観光関連事業者、都心部商店街、市民ボランティア、行政など）と連携・協力して設立した「札幌おもてなし委員会」の運営を行っています。大規模コンベンション等でのおもてなしや観光関連事業者の情報共有・ネットワーク化を行い、おもてなしのレベルアップを図っていきます。

○観光情報の発信

(1) **ホームページの运营管理**

ア) 観光情報サイト「ようこそさっぽろ」の运营管理【庶務係】

札幌市の公式観光情報サイトとして「ようこそさっぽろ」を公開しています。
このサイトでは、観光施設やイベントなどの定番情報をはじめ、季節ごとの見所や札幌ならではの体験を提案する特集記事、札幌ゆかりの人物が街の魅力を語るインタビュー記事などバラエティに富んだ観光情報を提供しています。

平成 25 年 10 月の全面リニューアルに伴い、写真を効果的に活用したページデザインを採用。更に見やすく札幌の魅力が直観的に伝わるサイトへと生まれ変わりました。加えて、需要が拡大し続けるスマートフォンへの対応や外国語コンテンツの充実により、利用者や活用範囲も大幅に広がりました。

平成 26 年 9 月にはタイ語への対応も開始し、現在は日本語・英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語・タイ語の 6 言語対応となっています。

今後も更なるコンテンツの充実と機能の拡充を行っていく予定です。

ようこそさっぽろ <http://www.welcome.city.sapporo.jp>

イ) リアルタイム情報発信システム運営【観光誘致・受入担当】

市内で行われる様々な観光・文化事業の情報を集約し、季節情報（桜開花情報、紅葉情報など）や観光施設の運休情報（ロープウェイ、観光幌馬車など）などのリアルタイム情報をわかりやすく提供する「観光文化情報ステーション」を運営しています（観光文化局文化部に予算を委託し運営）。

なお、観光文化情報ステーションは以下のホームページでも情報発信を行っています。

観光文化情報ステーション

所在地：地下鉄南北線「大通駅」地下コンコース北改札口横

定休日：年末年始（12/29～1/3）

営業時間：10：00～20：00

URL <http://www.sapporo-info.com/index.php>

QRコード⇒



携帯電話用 URL <http://www.sapporo-info.com/m/>

(2) 観光メールマガジンの配信【庶務係】

札幌観光の旬の魅力を広く発信するため、首都圏をはじめとする旅行会社の方々や、観光関連会社の方々、市内外の一般の方々などを対象に観光メールマガジンを配信しています。このメールマガジンでは、札幌の魅力が読者により伝わるよう、観光コンベンション部職員が実際に体験取材を行っています。

メールマガジンの配信は、下記のホームページから申し込むことができます。

〔平成 26 年 9 月現在の配信登録数 約 2,220 件〕

札幌の観光行政（メールマガジン配信申込・バックナンバー紹介）

http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/mail_magazine/mail_magazine.html

(3) 観光情報共有メーリングリストの管理運営【庶務係】

季節情報（桜開花情報、紅葉情報など）や観光施設運休情報（ロープウェイ、観光幌馬車など）、各種イベント情報等の観光関連情報を、観光案内所や市内ホテル関係者等で共有するためのメーリングリスト「観光情報ネット」を運営しています。

(4) 観光写真ライブラリー【庶務係】

企業等が札幌の観光ガイドブックやパンフレット制作を行う際に必要となる市内の観光スポット等の写真を保有しており、ホームページで無料ダウンロードサービスを行っています。〔平成 26 年 9 月現在 約 3,100 枚保有〕

観光写真ライブラリー

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/photolibrary/>

(5) Twitter（ツイッター）【庶務係】

Twitter において「札幌市観光コンベンション部」の名前でアカウントを設けており、イベントの告知をはじめとした観光情報の発信を行っています。

〔平成 26 年 9 月現在のフォロワー数 約 14,100 人〕
札幌市観光コンベンション部@Sapporo_tourism(Twitter アカウント)
http://twitter.com/Sapporo_tourism

(6) Facebook (フェイスブック)【庶務係】

Facebook において、日本語版と英語版のアカウントを設けており、写真や観光情報等の発信を行っています。

ようこそさっぽろ～札幌市の観光案内(日本語版)

<http://www.facebook.com/sapporocity>

Welcome to Sapporo(英語版)

<http://www.facebook.com/SapporoNow>

○藻岩山魅力アップ事業【観光魅力づくり担当】

平成 23 年 12 月 23 日にリニューアルオープンした藻岩山観光施設について、より多くの市民・観光客に楽しんでいただけるよう、各種イベントやプロモーションの充実を図っています。

○さっぽろツーリズム推進事業【観光魅力づくり担当】

定番だけではない札幌ならではの魅力を生かした新たな観光コンテンツ(さっぽろツーリズム)の創造・発信に取り組んでいます。

○戦略的観光資源発掘・創出事業【MICE 推進担当】

海外からの誘客を促進するため、外国人観光客のニーズに対応し、札幌の優位性や魅力を生かした観光資源を発信していきます。

○国内外へ向けた観光プロモーション事業

(1) 国内プロモーション事業【観光振興担当】

札幌の魅力を伝え、来札意欲を喚起させるため、一般消費者へのプロモーション事業や旅行会社等を対象とした説明商談会事業を実施するほか、写真や映像素材のライブラリーを整備し、札幌の魅力発信の強化に取り組めます。

ア) 観光説明商談会・視察会事業

さっぽろ広域観光圏推進協議会※¹や道内中核都市観光連携推進協議会※²等との連携により、道内外の旅行会社、航空会社及び旅行誌出版社を対象に視察会を兼ねた観光説明商談会を実施し、商品化や各種媒体への露出を促します。

※ 1 さっぽろ広域観光圏推進協議会 8 ページ参照

※ 2 道内中核都市観光連携推進協議会 7 ページ参照

イ) フォト・ムービーライブラリー整備事業

札幌の魅力ある観光資源を収録した写真や映像素材を収集し、各種プロモーションに活用していくとともに、企業等が自社の広告媒体等に掲載できるようインターネット等を通じて提供することで、露出機会の拡大を図ります。

ウ) プロモーション事業

札幌観光の魅力を伝え、来札意欲を喚起させるため、時期やターゲットを絞ったプロモーションに取り組めます。

エ) さっぽろ雪めぐり回廊事業

さっぽろ雪まつりの期間中、多くの観光客や市民が往来する札幌駅前通地下歩行空間において、札幌の観光情報や創造都市としての魅力を発信する場として、さっぽろ雪めぐり回廊を実施します。

(2) 国際プロモーション事業【観光誘致・受入担当】

平成 25 年度の外国人宿泊者数は、105 万 5 千人で過去最多となり、これまでで最多であった平成 24 年度の 68 万 1 千人と比較すると 54.9% の大幅な増加となりました。

札幌市では、さらなる外国人観光客の増加を図るため、現地での観光プロモーションや国際旅行博覧会への出展、招請事業などにより、札幌の観光情報の提供や魅力の発信を行っています。

さらに、有望市場であるタイ・シンガポール・インドネシアにおいては、昨年度タイで好評を博したトレインラッピングの事例を参考に、現地のメディアを活用するなど、国ごとのマーケットを踏まえた形で、札幌の魅力を効果的に伝えられるプロモーションを検討します。

ア) 現地プロモーション事業

タイ（バンコク）の商業施設において、雪を活用したイベントを実施することで、バンコク市民向けに札幌/北海道の冬の魅力を P R します。

イ) 国際旅行博覧会出展事業

旅行関係者や旅行に関心の高い一般市民が集まる場で、観光 P R や情報提供を行うことにより、誘客につなげると同時に、来場者からの聞き取りによる市場調査を行います。

26 年度出展予定：TITF（タイ）、MATTA Fair（マレーシア）、BITE（中国）等

ウ) 招請事業

札幌の魅力を実際に体験してメディアを通じ広く発信することや、札幌を訪問地とする旅行商品の造成を目的として、T V 局、旅行雑誌等のメディアや、旅行会社等の関係者を招請します。

26 年度実施予定：タイ、インドネシア

エ) セミナー・商談会

観光庁・日本政府観光局が主催するセミナー・商談会に参加します。

26 年度参加予定：タイ、フィリピン、ベトナム、日本

オ) 現地広告事業

シンガポールで開催される旅行博覧会の期間にあわせて、公共交通機関を利用した広告事業等を実施します。また、タイで開催される旅行フェア、現地プロモーション実施にあわせて、高架鉄道の駅に広告を掲出します。

カ) 観光マップ制作

海外からの観光客の円滑な周遊をサポートするためのツールとして、中心部及び広域マップに主な観光施設を掲載した、外国語版「さっぽろ観光マップ」を発行し、市内各案内所にて配布しています。

制作言語：英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、タイ語

○MICE 誘致・支援事業【MICE 推進担当】

MICE（マイス＝**M**eeting、**I**ncentive travel、**C**onvention、**E**vent/Exhibition）は、高い経済効果をもたらすだけでなく、経済情勢による影響や季節による変動が小さいという特徴があります。また、世界へ向けた P R 効果が高く観光目的としての再訪問を見込むことができ、受入施設のレベルアップにもつながるなど波及的な効果も大きく、集客交流産業の活性化に寄与するものです。

札幌市では、MICE を巡る都市間競争に打ち勝つため、産業界や大学、市民との連携や海外とのネットワークを生かして、MICE によるさらなる集客を目指し、各種の事業を行

っています。

札幌市の MICE の推進にあたっては、公益財団法人札幌国際プラザコンベンションビューローがワンストップサービス機能を担い、MICE 開催におけるコーディネートや受入の支援、首都圏における情報収集と誘致活動を行っているほか、コンベンションの運営費用にかかる助成金制度やインセンティブツアーへのサポート制度を運用しています。

また、MICE 推進に係る事業を行うにあたり、官民の連携をより強化するため、「さっぽろ MICE 推進委員会」を設置し、MICE 見本市への出展、キーパーソンの招請など、戦略的な取組を行っています。

○PR ツールの制作、配布・貸出【観光振興担当】

札幌の観光の魅力を視覚的にアピールしていくために、広報宣伝物を制作し、配布または貸出を行っています。

(1) 観光PR用DVD・映像ライブラリー素材

本市では、観光PR用のDVDを制作しており、様々なPRの機会をとらえて放映や配布を行っています。また、制作時に撮影した映像の一部を素材集とし、DVDとともに広く貸し出しています。

貸出物の名称	言語	メディア	備考
「CINEMATIC CITY SAPPORO」	日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、ハングル	DVD	初版：平成 23 年度 改訂：平成 24 年度
「歓迎交響曲 札幌」	日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、ハングル、タイ語、ロシア語	DVD	初版：平成 13 年度 改訂：平成 25 年度 ※ナレーション付き
「CINEMATIC CITY SAPPORO」 映像ライブラリー素材		DVD[MPEG-2]	解像度 720×480
		テープ[HD-CAM]	解像度 1440×1080

札幌市ホームページ「札幌観光PR用映像及び映像ライブラリー素材について」

<https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/eizo/eizo.html>

ようこそさっぽろ「札幌観光映像」のページ

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/learn/movie/>

(2) 観光PRパンフレット・ポスター

本市では、さまざまな機会をとらえた幅広いプロモーション活動を行うため、観光PRリーフレットとポスターを制作しています。制作したパンフレットやポスターは、全国各地で行われる物産展や各種イベント等で配布、掲出しています。

○来札幌観光客の動向調査・分析、結果についての情報提供【庶務係】

(1) 来札幌観光客数、外国人宿泊者数の調査

札幌市への観光客の入込数や宿泊施設の利用状況などの調査を行い、本書「札幌の観光」やインターネットで公開しています。

札幌の観光行政（観光統計データ）

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/statistics/statistics.html>

(2) 来札幌観光客動態調査

来札幌観光客の動態を明らかにし、今後の観光行政に活用することを目的に、以下の調査を実施しています。

なお、過去の調査結果はホームページで公開しています。

札幌の観光行政（計画・調査レポート）

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/program/program.html>

ア) 来札観光客満足度調査

道外からの観光客を対象に、市内観光の満足度、観光消費額、宿泊日数、再訪意向などに関するアンケート調査を実施しています。

〔平成 25 年度 来札観光客の札幌観光に対する総合満足度：92.5%〕

イ) 外国人個人観光客動態調査

香港、台湾、中国、韓国など外国人観光客を対象に、市内での観光行動や満足度などに関するアンケート調査を実施しています。

〔平成 25 年度 外国人観光客の札幌観光に対する総合満足度：94.2%〕

○札幌市観光まちづくりプランの策定【庶務係】

札幌市では、平成 25 年度に、観光を通じた豊かなまちづくりを進めるため、「札幌市観光まちづくりプラン」を策定しました。

このプランは、札幌観光の現状分析を行ったうえで、目標像として「産民学官が連携する観光まちづくりの実現」を掲げ、基本的な施策の方向性や優先的に実施すべき重点施策など、平成 34 年度までの 10 年間の観光の取組の方向性を示しています。

なお、観光を取り巻く社会経済情勢の変化に対応するため、統計データの更新や新たな取組の追加を行い、情勢適応型の計画として、柔軟に見直しを行うこととしています。

札幌の観光行政(札幌市観光まちづくりプラン)

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/plan/index.html>

○定山溪地区の観光振興

(1) 定山溪観光客誘致関連【観光振興担当】

地域が実施する観光客の誘客及び受入体制の充実を目的とする事業に対する補助のほか、定山溪観光魅力アップ構想策定後を見据えた温泉街の賑わいづくりやプロモーション活動について実施支援を行います。

(2) 定山溪観光魅力アップ構想の策定【観光魅力づくり担当】

定山溪地区の観光資源としての魅力向上を目指し、ソフト事業の充実や必要なハード整備を盛り込んだ構想策定に向けて、検討を行っています。

○北海道内の魅力を活かした広域連携による周遊、滞在の促進【観光振興担当】

札幌市の周辺市町村に広がる大自然を観光資源とした滞在型観光の促進や道内中核都市間において道内外観光客の域内交流を図るなど、北海道の広域的な魅力を活かすために自治体間において連携した取組を行っています。

(1) 札幌広域圏組合

札幌広域圏組合は、広域的な地域振興を図ることを目的に、石狩管内 8 市町村から構成されている特別地方公共団体です。圏域交流や圏域振興については構成市町村と密度の濃い連携のもと、互いの強みを活かしながら、「点」としてではなく「面」として札幌圏を P R し、札幌圏への誘客を目指しています。また、同じ圏域を有する観光圏整備事業とも連携し、共通の取組として進めています。

主な事業としては、札幌圏の観光資源を活用し、地域の創意工夫に満ちた着地型観光商品「地域旅」プランの造成及び販売をするほか、圏域での収穫体験やアウトドア体験、冬の遊びなど様々な観光資源を紹介したブログサイトを開設しています。

(2) 道内中核都市観光連携協議会

北海道内の中核都市(函館市・旭川市・釧路市・帯広市・北見市・札幌市)による「道内中核都市観光連携協議会」を平成 23 年 4 月に設立しました。平成 26 年度は、域内交

流を目的とした「道内6都市集客・周遊プロモーション事業」（中核6都市の観光施設を巡るスタンプラリーやクイズラリーの実施）をはじめ、北海道さっぽろ「食と観光」情報館イベントスペースにおいてポスターの掲出及びパンフレットの配架などを行います。また、観光客の集客と周遊を促進させるため、国内の道外観光客を対象に観光動向やニーズについて調査・分析します。

(3) さっぽろ広域観光圏推進協議会

札幌市中心部などの都市としての魅力と周辺市町村に広がる大自然を観光資源とした札幌圏での2泊3日以上滞り型観光を促進するため、周辺市町村や民間事業者と連携して「さっぽろ広域観光圏」を設立しました。「さっぽろ広域観光圏」では、少ない移動時間で都会と自然の両方を満喫できることをメリットとして各種事業を展開しています。平成26年度は、集客促進用フリーマガジン（夏・秋号、冬号）を制作し首都圏等での配布や、札幌市に宿泊した方向けの周遊促進ガイドマップを制作し圏域内周遊を促すキャンペーンを実施します。その他、滞在型観光を推進するため、道外在住者を対象にした長期滞在モニター事業を実施するなど、圏域の魅力アップと滞在促進を図っていきます。

○札幌シティ・リゾートウェディングの推進【観光振興担当】

札幌市の新たな分野での観光需要拡大や札幌ブランドのイメージアップなどを目的に、札幌市及び札幌市内のウェディング関連事業者等で組織する「札幌ロケーションフォト・ウェディング協議会」を通じて、ウェディングをテーマとしたプロモーションを実施していきます。

平成26年度は、挙式を兼ねた旅行の誘致も視野に入れながら、香港などからのフォトウェディング（結婚記念写真旅行）を誘客するための現地PRを行います。

札幌ロケーションフォト・ウェディングガイドURL

<http://sapporo-crw-photo.jp/>

札幌ロケーションフォト・ウェディング協議会フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/SapporoLocationphotoWedding.fan>

○各種まつりの連絡調整【事業調整担当】

(1) さっぽろ雪まつり

昭和25年に始まったこのまつりは、札幌を代表する世界的なイベントで、平成27年で66回を迎えます。約200基の雪氷像が7日間にわたり市民や観光客を楽しませます。第65回さっぽろ雪まつりでは、240万人の方が来場しました。

(2) さっぽろライラックまつり

ライラックの開花時期に大通公園で開催。昭和34年に第1回が開かれ平成26年で56回を迎えました。

(3) YOSAKOIソーラン祭り

平成4年に始まったこの祭りも平成26年で23回を迎え、約200万人の来場者が訪れる札幌の初夏を彩る一大イベントです。

(4) さっぽろ夏まつり

昭和29年に夏の観光名物の新規開拓を目指し誕生。平成26年で61回を迎えました。イベントの中心となっているのが福祉協賛さっぽろ大通ビアガーデンと北海盆踊りで、都市公園で4大ビールメーカーが一同にビアガーデンを開催するのは全国的にも珍しいものです。

(5) さっぽろオータムフェスト

平成 20 年度から、札幌の新たな秋のイベントとして開催。平成 26 年で 7 回目の開催となります。「北海道・札幌の食」をメインテーマとして、道内各地の旬の食材、ご当地グルメやラーメン、道産のお酒などを提供します。

(6) さっぽろ菊まつり

昭和 38 年に菊作り愛好者が増える中、小規模な同好会活動が一本化され、全市的なスケールのイベントとして誕生。平成 26 年で 52 回を迎えます。平成 23 年の第 49 回からは、メイン会場を同年開通した札幌駅前通地下広場に移しました。

(7) さっぽろホワイトイルミネーション

昭和 56 年に秋の観光シーズンとさっぽろ雪まつりをつなぐイベントとして誕生。平成 26 年で 34 回を迎えます。会場は大通公園、駅前通り及び南一条通りで、総数 45 万個もの電球が飾られ北の街の夜を幻想的に彩ります。

(8) ミュンヘンクリスマス市 in Sapporo

平成 14 年にミュンヘン市との姉妹提携 30 周年を記念し開催されました。会場は大通西 2 丁目で、ドイツのクリスマス市にちなんだ物販が行われ、札幌とミュンヘンの国際的な交流の場として市民に親しまれています。

○「札幌コンベンションセンター」の運営管理【庶務係】

国際会議や各種学会等の大規模な会議に対応できる大型コンベンション施設を設置しています。

〔札幌コンベンションセンター〕

所在地	白石区東札幌 6 条 1 丁目
電話番号	0 1 1 - 8 1 7 - 1 0 1 0
開設年月	平成 15 年 6 月
構造／延床面積	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下 1 階地上 3 階／20, 309. 90 m ²
開館時間	午前 9 時から午後 10 時まで（休館日 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日）
管理運営	SORA-SCC 共同事業体（指定管理者）
主要施設	大ホール（シアター形式 2,500 人収容）、特別会議室（シアター形式 700 人収容） 中ホール（シアター形式 600 人収容）、小ホール（固定席 193 人収容） 会議室（15 室）、野外展示場、駐車場（475 台収容）
敷地面積	41, 018. 51 m ²
(URL)	http://www.sora-scc.jp/

○「札幌国際ユースホステル」の運営管理【庶務係】

来札観光客に低額な料金で、安全・快適な宿泊を提供する施設として札幌国際ユースホステルを設置しています。

〔札幌国際ユースホステル〕

所在地	豊平区豊平 6 条 6 丁目 5 番 35 号
電話番号	0 1 1 - 8 2 5 - 3 1 2 0
開設年月	平成 12 年 4 月
構造／延床面積	鉄筋コンクリート造 地下 1 階付 4 階建／1, 967. 64 m ²
定員／利用期間	120 人／通年
管理運営	一般財団法人北海道ユースホステル協会（指定管理者）
宿泊料金等	宿泊 3, 800 円（中学生以下 3, 300 円、4 歳未満無料）（冷暖房、シーツ料、税込）食事（朝食 680 円）
敷地面積	918. 93 m ²

(URL) <http://www.youthhostel.or.jp/kokusai/>

2 平成 26 年度観光文化局観光コンベンション部の機構・職員数

局長	部長	課長	係長	係員
観光文化局長	観光コンベンション部長	観光企画課長	庶務係長	4 名
			事業調整担当係長	1 名
		観光振興担当課長	観光振興担当係長	3 名
			観光魅力づくり担当係長	1 名
			シティPR担当係長 (総務局東京事務所シティセールス担当係長兼務)	
		国際観光・MICE 推進担当課長	観光誘致・受入担当係長	3 名
			MICE 推進担当係長	1 名
		定山溪地区担当課長 (南区定山溪出張所長兼務)	定山溪地区担当係長 (南区定山溪出張所次長兼務)	
1 名	1 名	4 名	8 名	13 名
合計職員数 27 名				

3 平成 26 年度予算の概要

《平成 26 年度観光コンベンション部 予算の概要》

予算総額 882,139 千円（対前年度当初予算比 8.3%の増）

観光振興費

・観光企画宣伝費	53,419 千円	事務経費
・観光案内所運営費	56,669 千円	札幌駅、定山溪、大通公園の観光案内所運営
・観光施設運営管理費	27,649 千円	定山溪地区観光関連施設等の維持管理
・夜のさっぽろ魅力創造事業費	4,800 千円	夜間観光コンテンツの研究及びモデル事業の実施
・さっぽろツーリズム推進費	3,000 千円	新たな観光コンテンツの創造・発信

観光行事等助成費

・観光行事等助成費	120,542 千円	各種まつり、札幌観光協会等への補助
-----------	------------	-------------------

集客交流促進費

・国内観光振興事業費	16,160 千円	国内観光客誘致事業の実施
・国際観光促進事業費	22,500 千円	アジアを中心とした海外からの観光客誘致事業の実施
・観光活性化基礎調査費	4,925 千円	観光客満足度調査、観光イベントの経済効果調査
・おもてなし推進事業費	10,301 千円	観光客に対する市民ぐるみのおもてなし事業の実施
・広域連携による観光振興事業費	11,258 千円	さっぽろ広域観光圏等による周遊事業の展開
・シティ・リゾートウェディング推進事業費	10,469 千円	フォトウェディングの誘致事業の実施
・札幌いんふお運営費	12,500 千円	携帯端末を活用した情報提供による周遊促進
・戦略的観光資源発掘・創出事業費	6,000 千円	外国人観光客のニーズに合致した観光資源の発掘・創出
・国際観光有望市場誘致強化事業費	36,000 千円	タイ・インドネシアからの観光客誘致事業の実施
・外国人観光客受入環境整備事業費	5,020 千円	コールセンターにおける観光情報の提供、公衆無線LANの環境整備

都市魅力向上費

・さっぽろ雪まつり事業費	213,680 千円	実行委員会への補助・大通会場における大雪像制作
・さっぽろ雪まつり魅力アップ事業費	103,000 千円	雪めぐり回廊、プロジェクションマッピング、アートステージ等の実施
・定山溪地区魅力アップ事業費	22,200 千円	定山溪の魅力向上に向けた構想の策定及び支援事業の実施
・藻岩山魅力アップ事業費	10,451 千円	藻岩山施設の運営管理、各種ソフト事業の実施等
・さっぽろオータムフェスト事業費	27,830 千円	北海道・札幌の食をテーマにしたイベントの開催

コンベンション推進費

・コンベンションビューロー運営費補助金	50,708 千円	コンベンションビューローの事業に対する補助
・コンベンション誘致促進補助金	10,000 千円	コンベンション誘致促進のための開催費補助
・M I C E 推進事業費	31,558 千円	見本市の出展など、M I C E 誘致に係る事業の実施
・M I C E 誘致強化事業費	10,200 千円	広報、企業の報奨旅行の誘致強化に係る支援
・札幌M I C E 総合戦略策定費	5,500 千円	新しい総合戦略の策定、M I C E 施設の在り方検討

4 トピックス

○外国人宿泊者数の大幅な増加

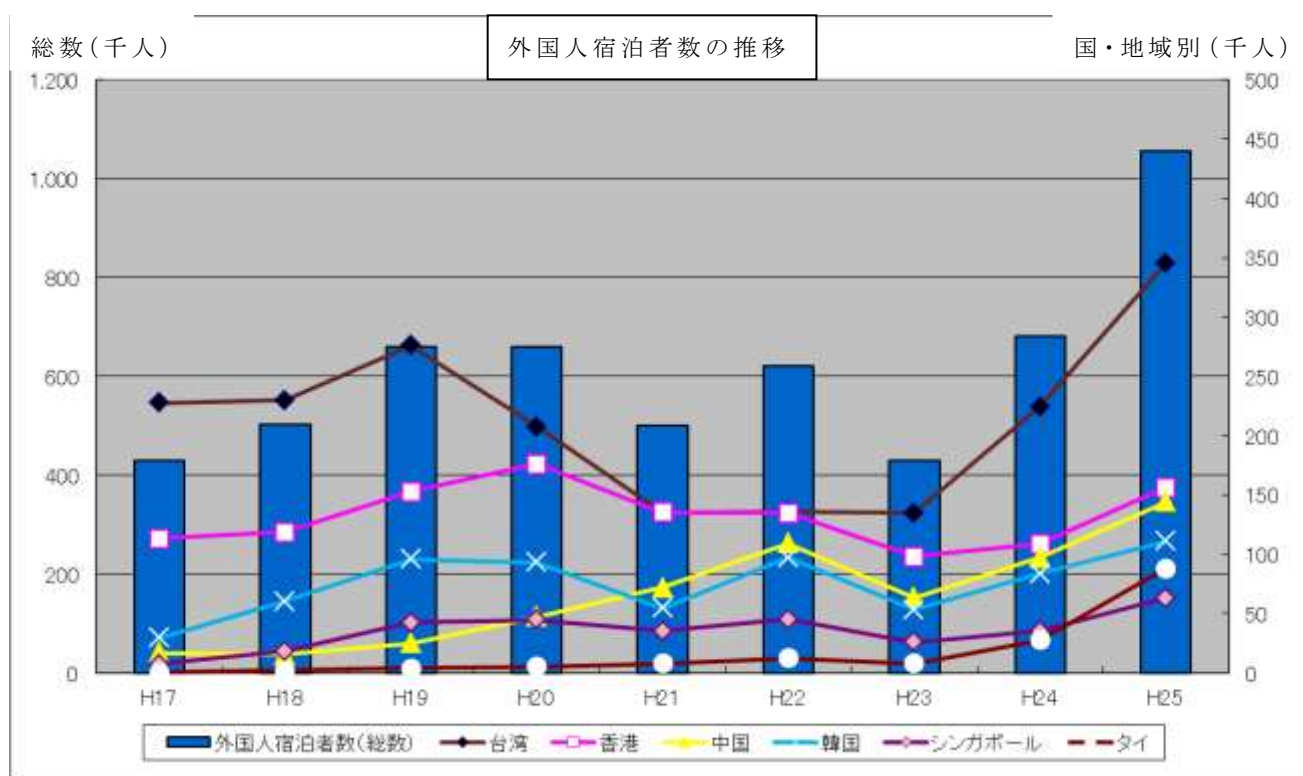
【庶務係】

平成 25 年度における札幌市の外国人宿泊者数は年間 105 万人となりました。これは、過去最多を記録した平成 24 年度の年間 68 万人を大きく上回っており、札幌市が平成 23 年度に策定した「第 3 次札幌新まちづくり計画」において掲げた目標数値（外国人宿泊者数：年間 100 万人）も達成しました。

国・地域別に見ますと、東南アジアからの宿泊者数の伸びが著しく、特にタイからの宿泊者数は前年度に比べて約 3.2 倍となっています。また、札幌市における外国人宿泊者約 4 分の 3 を占める東アジア(台湾・香港・中国・韓国)からの宿泊者数についても、約 3 ～ 5 割増と順調な伸びを示しています。

主な増加要因としては、円安が追い風になっていることに加え、平成 25 年 7 月から東南アジア向けのビザ発給要件が緩和されたことや新千歳空港国際線の新規就航や増便により旅客便数が増えたことなどが挙げられます。また、次項に掲載している積極的な海外プロモーションが奏功したともいえます。

日本全体でも平成 25 年の訪日客数は 1,036 万人となり、初めて年間 1,000 万人を突破しました。国では平成 32 年までに訪日客数年間 2,000 万人達成を新たな目標としています。札幌市においても、平成 25 年度に策定した『札幌市観光まちづくりプラン』の中で、外国人宿泊者数を平成 29 年度までに年間 115 万人、平成 34 年度までに年間 157 万人にすることを数値目標として設定しており、今後は、特に東南アジア圏を有望市場として観光客誘致を強化し、更なる外国人宿泊者数の増加を目指していきます。



○有望市場誘致強化事業（タイ）の実施

【観光誘致・受入担当】

札幌市では、タイの訪日ビザ免除や、タイ国際航空の「新千歳ーバンコク」直行便の増便などの機会を生かしながら、「ビジット・ジャパン地方連携事業」（北海道運輸局や北海道、民間企業等との連携により実施するもの）を活用して、年間を通じた観光プロモーションを実施しました。

具体的には、平成 25 年度に市長によるトップセールスや、タイのスワンナプーム国際空港と都心を結ぶ高架鉄道（A R L：エアポート・レール・リンク）の列車に、国際的に知名度が高い「初音ミク」のラッピングを施し、列車内の全ての広告を札幌の観光 P R に使用しました。また、バンコク市内の商業施設で現地の一般消費者に対して、札幌を中心とした北海道の魅力の発信や北海道/札幌の旅行商品を販売する現地イベントの開催、旅行博覧会へのブース出展、現地メディアの招請事業などを行いました。



【上田市長トップセールス】



【トレインラッピング】



【現地イベント】



【旅行博へのブース出展】

○札幌・さっぽろ広域観光圏・道内中核都市「観光説明商談会・視察会」の実施

【観光振興担当】

札幌市、一般社団法人札幌観光協会、札幌商工会議所、民間の観光関連事業者等で組織する札幌市国内観光プロモーション実行委員会では、さっぽろ広域観光圏推進協議会※¹や道内中核都市観光連携推進協議会※²等と連携し、観光客の誘客及び道内周遊の促進を目的とした「札幌・さっぽろ広域観光圏・道内中核都市『観光説明商談会・視察会』」を開催しています。

当該事業では、道内外（道外からは招請）の旅行会社や航空会社、旅行誌出版社を対象に、札幌市内やさっぽろ広域観光圏の魅力ある観光資源を体感していただく「視察会」、最新の観光トピックスをご紹介する「説明会」、道内の観光施設や体験事業者等とのビジネスマッチング機会の創出を目的とした「商談会」を同時開催しています。

平成26年度は、9月17日（水）、18日（木）の日程で開催し、視察会では、定山溪・八剣山エリアのアクティビティ施設やさっぽろオータムフェスト会場などを訪問、また、観光説明商談会には、バイヤー（旅行会社や航空会社、旅行誌出版社）47社・団体、セラー（道内の観光施設や体験事業者等）54社・団体の参加をいただき、双方で積極的な情報交換が行われました。今後も札幌を核とした滞在観光や体験観光、周遊観光の促進に向けて、内容の充実を図りながら、継続的に開催していきます。

※1 さっぽろ広域観光圏推進協議会 8 ページ参照

※2 道内中核都市観光連携推進協議会 7 ページ参照



【視察会：定山溪地域カヌー体験】



【視察会：八剣山地域ワイナリー見学】



【説明会】



【商談会】